

2022年度入学生 英語科履修モデルについて

英語科では、中学校教諭二種免許（英語）・上級秘書士（国際秘書）・情報処理士の3つの免許・資格を取得することができます。

また、下記のように5つの履修モデルがあります。卒業後どのような進路に進みたいかによって、あるいは現在興味があることによって、5つの中から最低1つの履修モデルを選択します。

履修モデル名	履修モデルの概要	関連科目名	単位	履修時期	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
キャリア英語	1 ビジネスの現場で英語をコミュニケーションの手段として使える能力を身につけます。 2 職場に必要な知識・技能・マナーを習得し即戦力となる能力を養成します。 3 コンピュータを活用した演習を通して、実社会で求められる実践的情報活用能力を身につけます。	ビジネス文書演習	1	1前				
		ビジネスコミュニケーション	1	1後				
		エアラインホスピタリティ	1	1後				
		エアライン・カスタマーサービス	1	2前				
		国際秘書概論	2	2後				
	合計	5科目	6単位					
こども英語	1 こどもたちに英語をわかりやすく、楽しく学ばせるための教授法を学びます。 2 絵本の読み聞かせ等を通して、気持ちが伝わる英語の話し方を学び、教えるのに役立つコミュニケーション能力を身につけます。 3 教師役やこども役を演じる体験授業を通して実践力を養成します。	英語音声学	1	1前				
		異文化理解	2	1後				
		英語絵本の読み聞かせ	1	2前				
		こども英語	1	2前				
	合計	4科目	5単位					
観光英語	1 日本文化や鹿児島を海外へ発信するために必要な基礎知識や英語コミュニケーション能力を身につけます。 2 異文化やグローバル社会についての理解を深め、鹿児島を訪れる海外の人々に柔軟に対応する力を培います。 *この履修モデルを選択するためには、1年次終了までに実用技能英語検定（英検）2級、もしくはTOEIC470点以上を取得していることが望ましいです。	「かごしま学I」・「かごしま学II」のうち最低1科目（両科目履修も可能）	1～3	1前 1後				
		異文化理解	2	1後				
		サブカル英訳 ‘かごしま’	1	2前				
		グローバル化と環境問題	1	2後				
		英語で案内する鹿児島	1	2後				
	合計	5科目	最低6単位					
日本語教育	1 外国人に「日本語」を教えるための基礎知識を学びます。 2 「日本語」を世界の1つの言語として客観的に観察し、分析する力を養成します。 3 実際に交換留学生のための日本語の授業を計画し、実践します。 *この履修モデルを履修する学生は、1年修了時、あるいは卒業後、オーストラリアの提携校において、約1年間、日本語教官助手を行うTAの候補となります。	日本語教材研究	2	1後				
		日英対照言語	1	2前				
		現代日本語学概論	2	2後				
		日本語教授法	1	2後				
	合計	4科目	6単位					
編入学・留学	1 編入学試験・教員採用試験等のための小論文対策や英語の長文読解対策等を入学直後に始め、受験対策を行います。 2 編入学や留学後の英語学習準備として、英語読解力や英作文力を養成します。 3 TOEIC/ TOEFL対策を行い、読解や表現における高得点を目指します。	アカデミックリーディングまたは総合英語演習I	1	1前				
		アカデミックスタディーズ	1	1後				
		アカデミックライティング	1	2前				
		グローバル化と環境問題	1	2後				
		英文学概論	2	2後				
		英語学概論	2	2後				
		合計	6科目	8単位				